



のべおか



市議会だより

第62号

平成27年2月1日発行
(2015年)

発行:延岡市議会
編集:広報・広聴特別委員会
〒882-0813 延岡市東本小路121-1
TEL.(0982) 22-7029

シリーズ ～延岡の観光スポット(旧延岡市編)～

「延岡花物語」

(平成27年2月10日～4月5日)

2月10日(火)～11日(水) 見ごろ:「慧日梅」

本東寺「慧日梅」観梅会(松山町)

2月21日(土)～22日(日) 見ごろ:「天下第一ひむか桜」「菜の花」

このはなウォーク 五ヶ瀬川堤防(延岡IC出口付近)

4月5日(日) 見ごろ:「ソメイヨシノ」「やぶ椿」

ワイワイグルメ博2015 城山公園(本小路)

ゆるキャラも
まっちゃんよ



海岸線が美しい檜の浜(赤水町)



日本一高い弘法大師の銅像
(山下町 今山)



日本初の日本一周飛行を成し遂げた
後藤勇吉の銅像(東浜砂町 妙田緑地公園)

☆主な掲載内容

- ◆12月議会で決まったこと 2
- ◆決算審査報告 3
- ◆議員定数・報酬の協議結果報告 ... 4
- ◆一般質問 5～7
- ◆編集後記など 8



12月議会で決まったこと

12月議会では、一般会計補正予算など議案32件、意見書3件を可決(承認・認定)し、請願1件を採択、1件の報告を受けました。また、一般質問では3日間で12名が登壇し、市長の政治姿勢など、多岐にわたる質疑が活発になされました。

なお、平成25年度の決算関係の議案につきましては、11月に決算審査特別委員会を開き、審査を行い、今議会において各会計決算を認定しました。詳しくは3ページをご覧ください。

議 案

平成25年度 延岡市一般会計歳入歳出決算の認定 他6件

平成26年度 延岡市一般会計補正予算

平成26年度 延岡市国民健康保険特別会計補正予算

平成26年度 延岡市介護保険特別会計補正予算

平成26年度 延岡市後期高齢者医療特別会計補正予算

平成26年度 延岡市水道事業会計補正予算

平成26年度 延岡市下水道事業会計補正予算

延岡市北方コミュニティセンター条例の一部改正

延岡市国民健康保険条例の一部改正

延岡市立小中学校設置条例の一部改正

延岡市就学指導委員会条例の一部改正

議決事項の一部変更(新庁舎建設 1期建築主体工事)

市道の路線認定(3路線)

指定管理者の指定(延岡市岡富コミュニティセンター)

指定管理者の指定(延岡市中小企業振興センター)

専決処分承認(和解及び損害賠償の額の決定)

延岡市一般職職員給与条例の一部改正

延岡市特別職職員給与条例の一部改正

延岡市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正

専決処分承認(平成26年度 延岡市一般会計補正予算)

固定資産評価審査委員会委員の選任(馬場 愛子 氏)

人権擁護委員候補者の推薦(田中 寛子 氏)

人権擁護委員候補者の推薦(堀野 信子 氏)

人権擁護委員候補者の推薦(渡邊 律子 氏)

人権擁護委員候補者の推薦(鳥原 陽子 氏)

人権擁護委員候補者の推薦(矢野 恵子 氏)



中小企業振興センター



請 願

12月議会では、請願1件を採択し、国に意見書を提出しました。

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書提出に関する請願」

報 告 案 件

専決処分の報告(車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)

延岡市議会では、本市だけでは解決できない課題について、地方自治法に基づき、関係機関に意見書を提出しています。12月議会では、左記の意見書(二部抜粋)を可決し、国に提出しました。

「山村振興法の延長及び地域林業・地域振興の確立に向けた施策の拡充を求める意見書」

1. 山村振興法の内容の充実を図り、「山村振興交付金を創設するとともに、「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」等、山村地域の活性化を図るための助成制度の一層の充実・強化を図ること。

2. 木質バイオマスの利用、再生可能エネルギー対策の強化、6次産業の推進等の産業振興施策の充実・強化を図ること。

3. 川上から川下に至る一貫した林業・木材産業の振興、木材利用の促進を図るための森林・林業対策の充実・強化を図ること。

4. 鳥獣被害の深刻化に鑑み、被害防止に関する対策の充実・強化を図ること。

5. 道路整備のための財源を十分に確保し、特に地方における道路財政の充実を図ること。

6. 森林吸収源対策を強力に推進するため、地球温暖化対策のための税等に係る所要の税制措置を講ずるとともに、地方税財源を確保・充実する制度を創設すること。

7. 税財源の乏しい山村地域の实情に即した地方交付税制度の充実・強化を図り、所要の額を確保すること。

「少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書」

1. 豊かな教育環境を整備するため少人数学級を推進すること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成等の拡充を求める意見書」

1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

可決(承認・認定)した議案と報告などの一覧



平成25年度 各会計決算をチェック

9月議会から継続審査としていた、平成25年度各会計決算は、12月議会において、「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」は賛成多数で、「食肉センター特別会計」「水道事業会計」「下水道事業会計」については全員異議なく認定(上下水道事業会計については認定及び原案可決)しました。

本決算は、議長と監査委員（議会選出）を除く議員25名で構成する決算審査特別委員会を設置し、11月に3日間かけて監査委員の意見などを参考に慎重に審査しました。内2日間は常任委員会ごとに構成する4つの分科会に分けて審査を行いました。各分科会での質疑応答の一部を掲載します。

市制施行80周年記念テレビ番組制作事業

延岡のグルメの数々、美しい観光資源等を MRT テレビなどを活用して県内外（宮崎県、福岡県、大分県、熊本県）へ発信。

315
万円

Q. この事業でどのような成果があったのか？

A. 放送直前の東九州自動車道「蒲江～北浦間」の開通もあって、今年5月の大型連休中は、市内のレジャー施設を訪れるお客様が例年より大幅に増え、「テレビを見て訪れた」という人の声も多く聞かれた。

また、出会いの聖地として紹介された愛宕山にも、県外から多くの来客があるなど、本市のPRに大きな効果があったと考えている。



愛宕山のモニュメント

木造住宅耐震化促進事業

昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震性の向上を図るための、国・県の補助制度を活用した耐震診断・耐震改修の補助、耐震診断アドバイザーの派遣。

486
万円

Q. 20戸診断して、改修が9戸となっている理由は何か？

A. 改修費用約90万円（1戸あたりの平均）の半額を補助しているが、リフォームも同時に行うケースが多く、費用が高額となっていることが要因の一つである。

また、高齢者が多いことから、改修まで行う方は少ない現状にある。



道の駅 北川はゆま 活用調査研究事業

利用者の動向やニーズの把握、今後の地域振興のための道の駅「北川はゆま」のあり方についての調査研究。

873
万円

Q. 調査結果をどのように活用しているのか？

A. 26年度から、来客者が多く見込める地域に向けた宣伝の強化や、40%がトイレだけの利用という結果を受けて、どのように物産館まで誘導するかというような取り組み等を行っている。

また、地域オリジナルの商品を望む声が多いという結果を受けて、地域性を活かした商品開発に向けて取り組んでいる。



ICT教育研究事業

北方小・中学校をモデル校とした情報通信技術の授業における効果的な活用方法等の研究。デジタルテレビ3台と電子黒板ディスプレイ2台を導入。

103
万円

Q. どのように市内全体に展開していくのか？

A. 研究の結果、大変効果があると考えている。ICT機器には様々なものがあるので、各学校の意見を聞き、どのような機器を必要としているのかを分析したうえで、整備について考えていきたい。



デジタルテレビ
(北方学園小学校)



議会のあり方検討特別委員会の中間報告

～議員定数・報酬は現状維持 費用弁償は見直しの方向でさらに検討～



延岡市議会では、議会基本条例の検証や今後の議会活動を積極的に推進するため、平成25年度に議会活性化特別委員会を設置し、その調査研究を進めてきました。

そして、これらの取り組みをより効果的なものとするため、定数や報酬等も含めた、総合的な今後の議会のあり方についても調査研究するため、名称を、「議会のあり方検討特別委員会」に変更し、議員定数や報酬について、全国17市の独自調査や、市内の各種団体等との意見交換を踏まえながら、協議・検討を行ってきました。

その結果、12月議会本会議で「議員定数・報酬については、現状を維持すべきである」との中間報告を行いました。

意見交換実施団体

(17団体)

延岡市区長連絡協議会
北川町地域協議会
北方町地域協議会
北浦町地域協議会
連合宮崎県北地域協議会
宮崎県北地区同盟
宮崎県北地区平和・人権・環境労働組合会議
宮崎県北地区労働組合総連合
のべおか男女共同参画会議21
延岡商工会議所
延岡青年会議所
延岡農業協同組合
延岡地区森林組合
延岡市漁業協同組合
延岡漁業協同組合
島浦町漁業協同組合
北浦漁業協同組合
(順不同・敬称略)

中間報告の内容

議員定数 「現行の議員定数29人は維持すべき」

- 北川町との合併時点で、北川町の議員を含めて72人の議員がいたが、平成19年5月の改選時に33人に、さらに、平成23年5月の改選時には29人と2期連続の削減を行っていること。
- 合併により行政面積が九州で2番目に広い自治体となり、議員定数をさらに削減すれば、市民の幅広い意見が反映されにくくなること。
- 議員定数を削減すれば、人口の少ない旧3町や周辺部出身の議員が減る可能性が高くなり、特に旧3町においては、今後、総合支所機能の見直しが予定されている中で、地域の代表が減るかもしれない議員定数の削減には反対の声が強いこと。
- 平成25年4月に「議会基本条例」を施行し、議会活性化を目指し、議会活動報告会など、様々な活動を行っているが、その成果の検証も十分にされていないこと。
- 委員会として市内17団体と意見交換を行ったが、「削減」との意見は2団体のみで、残りの団体は「現状維持」とのことで、出席者の中には、「むしろ増やすべきではないか」との意見もあったこと。

議員報酬 「現行の報酬は維持されるべき」


- 削減を要望する人の中には、「市内労働者の平均給与と比較して、月額435,000円の議員報酬は高いのではないかと」の意見もあるが、生活給としての給与と違い、議員は、報酬の中から議員活動に必要な経費を負担しなければならず、その金額については、単純に比較できないものがあること。
- 本市議会では、「政務活動費」が支給されていないため、議員報酬を削減した場合、議員活動等に影響が出ると考えられること。
- 委員会として市内17団体と意見交換を行ったが、「削減」との意見は2団体のみで、残りの団体は「現状維持」との意見であったこと。
- ※議員の報酬等に関する事項は、市長が「特別職職員報酬等審議会」という第三者機関に諮問し、審議されることとなっているので、今回の案件も本来であれば同審議会で審議されるべきものである。

費用弁償 「全議員一律の支給金額は見直すべきであり、今後さらに検討する」

- 本会議等へ出席した際に支給される費用弁償のあり方について、特別委員会では、その定義も含めた検討を行っており、現行の出席1日あたり一律3,000円の支給については「費用弁償には、交通費的な考え方も含まれるため、全議員一律の支給金額は見直すべきである」との認識で一致した。そのため、3月議会において、関係条例の改正を行うよう、引き続き、具体的な見直し内容等についての検討を行う。

『議員定数』や『議員報酬』の見直しを求める声があるのは、その背景に、議会の活動が市民に見えにくいなどの課題が考えられるので、今後も議会基本条例の趣旨に添いながら、より開かれた議会づくりを目指し、様々な取り組みの充実を図っていく必要があるとの意見で委員会として一致しました。



12月9日	 早瀬賢一議員 (友愛クラブ) ○SNSを活用した市民参画 ○地震時の通電火災対策 ○観光分野への職員活用 他	 内田理佐議員 (延岡きずな自民の会) ○幼稚園教諭保育士不足問題 ○研修時間の確保 ○九保大「子ども福祉学科」他
	 下田英樹議員 (友愛クラブ) ○教育委員会制度の改正 ○ふるさと納税 ○子育て支援 他	 矢野戦一郎議員 (友愛クラブ) ○総合支所のあり方 ○職員採用 ○小中学校における英語教育 他
12月10日	 河野治満議員 (のべおか市民派クラブ) ○地方再生と人口減少問題 ○島浦町の振興 ○高校生への就学支援 他	 白石良盛議員 (延岡きずな自民の会) ○城山三階櫓 ○市道二ツ島線 ○港小イノシシ被害対策 他
	 松田満男議員 (延岡きずな自民の会) ○企業誘致 ○旧火葬場 ○スポーツ団体の合宿誘致 他	 熊本貞司議員 (友愛クラブ) ○消費税増税延期の影響 ○地元企業誘致への優遇措置 ○城山周辺整備 他
12月11日	 三上 毅議員 (公明党市議団) ○来庁時の交通安全対策 ○防災運動会の推進 ○振り込め詐欺対策の推進 他	 長友幸子議員 (社民党市議団) ○人口減少問題 ○少人数学級 ○衆議院議員総選挙 他
	 佐藤 誠議員 (延岡きずな自民の会) ○農林水産業事業説明 ○クロスカントリー大会 ○祝子川温泉美人の湯 他	 平田信広議員 (日本共産党) ○介護保険料 ○西階中体育館の補修 ○県道榎原細見線の整備 他



議員12名が一般質問

※質問の一部を掲載します。

市政を問う!!



感震ブレーカー

地震時の通電火災対策

【問】様々な形で行政に参加して頂くことは、市民協働のまちづくりを進める上でも重要だと考える。今後、こうした技術を活用した市民参画のあり方についても調査研究したい。

【答】様々な形で行政に参加して頂くことは、市民協働のまちづくりを進める上でも重要だと考える。今後、こうした技術を活用した市民参画のあり方についても調査研究したい。

12月9日質問

SNSを活用した市民参画

【問】先進地では、スマートフォンなどのITを活用し、地域の課題解決に繋げる取り組みが進められている。新しい世代に関わりやすいシステムを作り出すことが重要な課題では。

【答】先進地では、スマートフォンなどのITを活用し、地域の課題解決に繋げる取り組みが進められている。新しい世代に関わりやすいシステムを作り出すことが重要な課題では。

【問】幼稚園教諭、保育士不足問題の主な要因として賃金の問題がある。解決方法は。

【答】平成27年度からの子ども・子育て支援新制度において、施設に給付する公定価格の中で対応される予定。また、おやこの森において保育士養成講座を実施し、潜在的な保育士の掘り起こしや、新たな保育士の養成などに取り組んでいる。



おやこの森での講座

幼稚園教諭保育士不足問題

【問】本市の減災対策においては、特に通電火災対策が遅れている。感震ブレーカーの普及促進は。

【答】今年度内をめどに策定中の「性能基準と特性を示すガイドライン」に沿って感震ブレーカーの普及啓発に努めたい。

【問】ふるさと納税の積極的な活用と、特産物の提供の考えは。

ふるさと納税

【問】ふるさと納税の積極的な活用と、特産物の提供の考えは。

【問】来年4月から教育委員会制度が改正されるが、教育行政への影響と対策は。

教育委員会制度の改正

【答】教育委員長と教育長が一本化された新教育長の責務が大きくなることや、「総合教育会議」を設置し、大綱を定めることが大きな変更点である。これまでも、市長と教育委員会が定期的に情報交換の機会を設けながら、議論を重ねているので、教育行政に大きな影響はないと考える。

九保大「子ども福祉学科」

【問】九保大「子ども福祉学科」への地元高校生の入学状況は。

【答】定員50名に対し今年度が6名、過去5年間において26名となっている。

研修時間の確保

【問】九保大と連携した幼稚園教諭、保育士の研修時間の確保は。

【答】九保大と相談しながら、研修する場所も含め、新しい仕組みづくりを検討する。



【答】観光や物産振興を積極的に推進するうえで、大変効果があるツールであり、鮎やなな食事券などの商品を贈呈することで、観光振興も図れると考える。

総合支所のあり方

【問】行財政改革の取り組みが行われているが、総合支所の規模や予算、人員等、今後のあり方は。

【答】本年度中に一定の方針を決定するが、地域住民の関心も高いことから、地域協議会のご意見も伺いながら、地域住民が安心してサービスを受けられるよう検討したい。

職員採用

【問】新たなアイデアや成果を生み出すには、女性職員の活躍が一つの鍵になる。市職員の採用試験区分の特別選考枠に加え、女性枠を検討する考えは。

【答】地方公務員法の平等取扱の原則、成績主義の原則から、性別等に限った採用枠を設けることは困難である。現行の採用試験制度の中で、優秀な女性職員の確保に積極的に取り組む。

12月10日質問

地方再生と人口減少問題

【問】地域再生における本市独自の地方版戦略の策定とその時期は。

【答】現在第6次長期総合計画の策定に向けた取り組みを進めており、雇用創出や魅力ある地域づくり等の検討をしている。27年度中に策定する。

島浦町の振興

【問】地域振興に関わる専門職員の支所への配置は。

【答】地域における行事等への参加、協力を努め島浦地域を含めた、「ひむか遊パークうみウララ」エリアの振興に力を入れている。



「ロゴマーク」

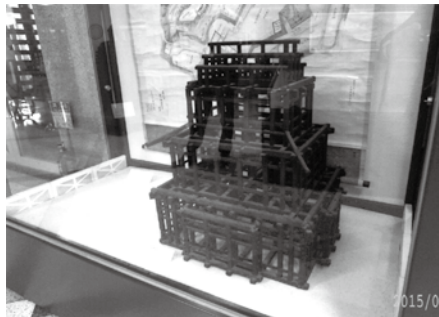
高校生への就学支援

【問】寮や下宿から通学して

いる高校生への今後の支援は。

【答】実態調査に基づき56名程度を想定しており、寮や下宿等を利用する学生の保護者に対し、賃借料の2分の1程度（上限2万円）を設定する。

城山三階櫓



三階櫓の模型（内藤記念館）

【問】城山の再整備について、地質調査や法面安定解析結果を踏まえ、三階櫓の建設の可能性は。

【答】地質調査では、支持地盤となる軟岩層が確認でき、法面の安定解析では、既存樹木を活かしながら、法面を安定させる工法が提案された。これらから、復元の物理的條件は整えることができる。ただし、可能な限り、史実に基づいた復元をするためには、実在した櫓の構造や時代背景等を今後、更に検討を重ねる

必要がある。

市道二ツ島線

【問】二ツ島町の恋島、寺島を結ぶ市道二ツ島線の堤防の下から寺島までの整備は。

【答】二ツ島地区は、津波避難タワー建設の計画もあり避難道路として、また生活道路として整備する必要はある。実施について検討していきたい。

企業誘致

【問】企業誘致の今後の取り組みは。

【答】高速道路網の整備効果を最大限に活かしながら、市外からの企業誘致はもとより、地元企業の新たな「ビジネス誘致」にも力を入れたい。

旧火葬場

【問】旧火葬場の解体計画は。

【答】建物を解体し、跡地は自然の山に返す予定である。

スポーツ団体の合宿誘致

【問】高速道路開通後の誘致展開は。

【答】今年11月には、今後移動方法の変更や時間短縮などが見込まれる関西地域での誘致活動を行った。今後も、積極的に合宿誘致に取り組んでいきたい。



消費税増税延期の影響

【問】増税先送り等が、本市の来年度の予算編成に与える影響は。

【答】改革の目玉である、子ども・子育て支援新制度は、財源不透明のまま来年度より実施する方針であることから、全国市長会を通じて、社会保障の充実確保に必要な財源を手当てするよう強く求めている。

地元企業誘致への優遇措置

【問】思い切った地元企業への特待制度など、優遇措置の検討は。

【答】高速交通網の整備に加え、東九州メディカルバレー構想等の進展に伴う医療関連企業への新規参入機運の盛り上がり等は、本市への投資を促す追い風であり、この好機



を逃すことなく、他の自治体との競争に優れた立地環境の充実を図る。

12月11日質問

来庁時の交通安全対策

【問】来庁者が旧警察署跡の駐車場から道路を横断する際の安全対策は。

【答】野口記念館前の三差路交差点について、今年度中には歩車分離交差点への変更を行う見込みであり、変更後は交差点を渡るよう案内板の設置や誘導を行うなど、安全確保を図りたい。



野口記念館前交差点

防災運動会の推進

【問】防災運動会とは、各種災害を想定した防災訓練を学び、実践できるように工夫された競技を行い、子供から高

齢者まで楽しく参加できる運動会だが、推進する考えは。

【答】各地域において、学校、幼稚園、保育所、事業所等の関係者が相談しながら、実施に向け取り組んでいただきたい。市としても、防災講座等を通じて、啓発を行い、関係者との調整を支援していきたい。

人口減少問題

【問】人口減少対策に向けた本市の具体的な取り組みは。

【答】子育て支援の充実に合わせて、働く場や学びの場の確保、暮らす場の魅力の向上が大変重要と考える。子育て支援や少子化対策の強化、初期救急医療ダイヤルなど、切れ目のない環境整備に取り組んでいる。また、医療関連産業の振興や、九保大の新学部設置支援、延岡駅周辺の整備など、雇用創出や都市機能の充実を図る事業を推進している。

少人数学級

【問】子どもが等しく豊かな教育を受けられる環境にするために有効と考えられる、少人数学級推進の考え方は。

【答】児童生徒にきめ細かな指導ができるなど、教育的効果は非常に高い。今後も充実

することを期待する。



農林水産業事業説明

【問】新年度予算に合わせ、農林水産業の生産者を対象とした事業説明実施は。

【答】新年度の事業説明会を年度末3月に実施したい。

クロスカントリー大会

【問】五ヶ瀬川兩岸を活かしたクロスカントリー大会を、既存の文化行事と連携してできないか。

【答】競技団体等の意見を伺いながら、開催可能な競技種目や文化行事などとの連携を検討する。

祝子川温泉美人の湯

【問】実質赤字が1071万円であるが、経営状況及び点検評価結果報告は。

【答】所管する北川町総合支所の指導のもと、経営改善に努めている。経営状況や利用

状況などを総合的に評価し経営努力を行いつつ、引き続き事業を継続する。

介護保険料

【問】来年度は3年に一度の介護保険料の改定が行われる。改定後の基準額はおおよそどのくらいになるのか。

【答】新しい保険料については、現在検討しているが、現在の保険料を引き上げることが避けられない状況にある。

西階中学校体育館の補修

【問】西階中学校体育館の老朽化が激しく、窓が開閉できない所があったり、雨漏りがある箇所もあり、滑って病院通いをしてる例も耳にした。補修が必要では。

【答】来年度、体育館の耐震補強工事の中で、抜本的な屋根の防水対策をはじめ、建具や外壁の改修などを実施する。



西階中体育館

用語解説

【注1】SNS

ソーシャルネットワーク・サービス。インターネット上で職業・趣味・写真などを公開し、会員同士で交流できる機能を提供するサービスのこと。

【注2】感震ブレイカー

設定値以上の震度の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断するもの。地震発生時自動的に電気が遮断されるため、通電火災の減少に効果を発揮する。

【注3】おやこの森

社会福祉法人北方福祉会が運営する子育て支援センターのこと。子どもの遊び場の提供や育児相談、育児セミナーの開催やベビー用品のレンタル、情報誌の発行など、子育て支援の情報を発信する拠点施設となっている。

【注4】歩車分離交差点

歩行者が安心して横断できるように、歩行者と車両の通行時間帯を分離した交差点のこと。

議会ニュース

「会派構成の変更」

会派の構成が一部変更となり、中城あかね議員が延岡きずな自民の会、上杉泰洋議員が会派に属さない議員となりました。



新議場で3月議会が開かれます!!

議会における本会議、委員会は原則すべて傍聴することができます。定例会や臨時会でのやりとりを新しい議場の傍聴席から、聴いてみませんか。

また、一般質問の様子はケーブルテレビやラジオでも生中継されています。

<テレビ放送>

ケーブルメディアワイワイ…… 111ch

<ラジオ放送>

FMのべおか…… 88.6MHz

その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

会議録検索システム

延岡市ホームページ > 延岡市議会
> 会議録 検索

市役所新庁舎7階



建設中の新議場(12月)

議会の会議は市民の皆様に公開されています。

新庁舎高層棟の完成に伴い、3月議会は新議場で開催される予定です。3月3日に開会し、**一般質問は、3月10日(火)から3月12日(木)**の予定になっています。皆さまぜひ新しい議場へお越しください。

議会活動報告会

議会活動報告会は25年度に取り組みをスタートし、これまで、延べ20会場で開催し、820人を超える多くの市民の方にご参加いただきました。

今後ももっと多くの皆様に報告を聴いていただき、また、ご意見を伺える機会となるように努めていきます。



本市の発展と地方自治の進展に多大な貢献をされました御三方に哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 渡部 勇夫氏



元市議会議員の渡部勇夫氏が、去る10月19日に87歳

で逝去されました。渡部氏は、昭和50年に初当選され、総務委員会副委員長などを歴任されました。

故 金子 祐三氏



元市議会議員の金子祐三氏が、去る10月31日に80歳

で逝去されました。

金子氏は、昭和50年に初当選され、総務委員会委員長、議会運営委員会委員長などを歴任された後、平成5年から2年間は議長を務められました。

故 甲斐 達藏氏



元市議会議員の甲斐達藏氏が、去る11月17日に77歳で

逝去されました。甲斐氏は、昭和50年に初当選され、民生教育委員会委員長などを歴任されました。

編集後記

新年を迎え、昨年は延岡市において大きな災害が無かったことに感謝をし、また今年も、穏やかな一年であることを願っています。

私たち議員は4月の統一地方選挙を控えて、それぞれに取り組み課題がありますが、まずは2月中に、中小企業振興センターでの仮議場から、新庁舎の議場へ引っ越しをする予定となっています。

仮議場へ「ありがとうございます」という気持ちと、新議場へ「よろしくお願ひ致します」という気持ちを込めて、一人ひとりの議員が、3月議会に一生懸命取り組みます。

新庁舎での議会に足をお運びください。

